

第 2 回「地方公共団体における統計利活用表彰」の受賞団体の決定

総務省では、公的統計データを活用して行政施策の立案や行政サービスの改善等の優れた取組を進める地方公共団体に対する表彰を行っております。
この度、総務大臣賞等が決まりましたので、お知らせします。

1 概要

総務省では、客観的な統計データに基づく的確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として、昨年度より「地方公共団体における統計利活用表彰」を行っております。

この度、厳正な審査の結果、総務大臣賞、統計局長賞及び特別賞が決まりました。

なお、受賞団体に対しては、平成 29 年 11 月 13 日（月）の「全国統計大会」で表彰式が行われます。

2 受賞団体及び取組

【総務大臣賞】

静岡県：ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤

【統計局長賞】

東京都豊島区：GIS ポータル構築による業務改善

【特別賞】

茨城県：いばらき型「ターゲットに訴求する統計データマイニング」

静岡県：健康課題の「見える化」～健診結果 65 万人ビッグデータをマップ化～

佐賀県：「人材流出県」からの脱却へ向けた産業人材の定着・還流プロジェクト

(参考)

第 67 回「全国統計大会」概要

- ・日時 平成 29 年 11 月 13 日（月）13:30～16:00
- ・場所 国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・備考 表彰式終了後、「統計・データサイエンス活用セミナー」において、総務大臣賞及び統計局長賞の受賞団体によるプレゼンテーションを実施

(別添資料)

第 2 回「地方公共団体における統計利活用表彰」受賞団体及び取組

(連絡先)

統計局統計利用推進課

担当：高橋課長補佐 丸井係長

電話：03-5273-1023（直通）

FAX：03-3204-9361

E-mail：y-senryaku_atmark_soumu.go.jp

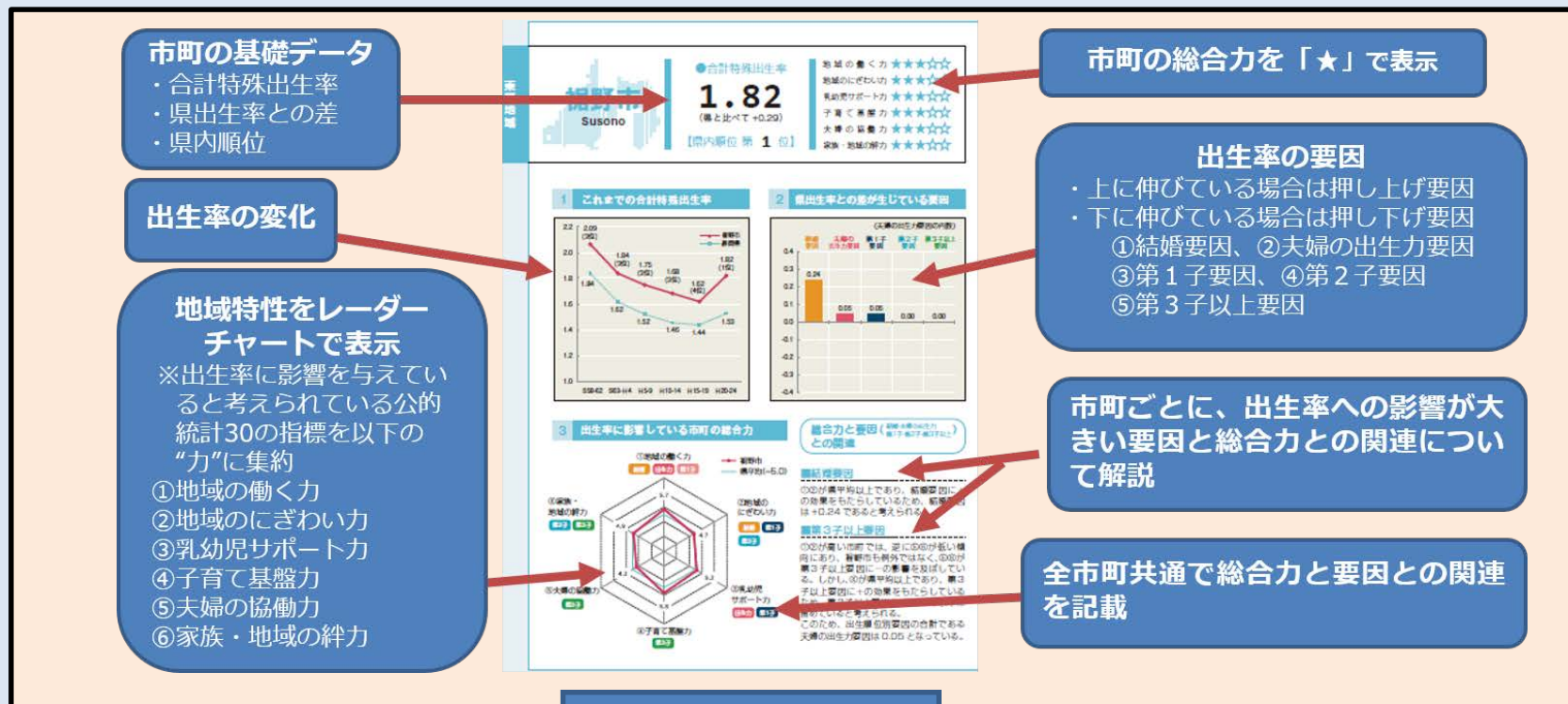
（スパムメール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。メールを送る際に「_atmark_」を「@」に直して入力してください。）

第2回「地方公共団体における統計利活用表彰」 受賞団体及び取組

受賞団体	受賞取組
<p>【総務大臣賞】 静岡県</p> <p>(統計データの政策活用)</p>	<p>ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤</p> <p>地域の特性や施策の実施状況など合計特殊出生率に影響を与える要因を市町別に分析し、分析結果を「見える化」</p>
<p>【統計局長賞】 東京都豊島区</p> <p>(統計データ分析に基づく業務効率化)</p>	<p>GISポータル構築による業務改善</p> <p>地図上に様々な情報を組み合わせて表示するGIS[※]の仕組みと統計分析を活用し、業務の効率化等を実現</p> <p>※GIS: Geographic Information System (地理情報システム) の略</p>
<p>【特別賞】 茨城県</p> <p>(統計データの政策活用)</p>	<p>いばらき型「ターゲットに訴求する統計データマイニング」</p> <p>現在の市町村域に合併前のデータを再編・統合し時系列的に整理。さらに「4コマ漫画」などによる「伝わる」広報を行い、データの政策活用を推進</p>
<p>【特別賞】 静岡県</p> <p>(統計データの政策活用)</p>	<p>健康課題の「見える化」～健診結果65万人ビッグデータをマップ化～</p> <p>人口動態統計や特定健診データを複合的に市町別に分析し、生活習慣病や主要な死因、平均自立期間(お達者度)等を「見える化」</p>
<p>【特別賞】 佐賀県</p> <p>(統計データの政策活用)</p>	<p>「人材流出県」からの脱却へ向けた産業人材の定着・還流プロジェクト</p> <p>高卒者の「人材流出」の要因・背景を統計データを用いて分析し、その結果を踏まえた施策を実施</p>

静岡県 ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤

- ✓ 出生率に影響を与える地域の特性や施策の実施状況等の要因を3段階(要因分解、主成分分析、重回帰分析)で市町別に分析し「見える化」
- ✓ 出生率向上のために効果的な事業を行う市町への助成を実施



「羅針盤」で明らかになった弱点を克服するのに効果的な事業を行う市町に助成

東京都
豊島区

GISポータル構築による業務改善

- ✓ 統計分析により道路台帳閲覧の問題点を把握し、道路台帳GISのインターネット公開を決定
- ✓ 街路灯点検の修繕計画について、GIS分析結果を基に優先順位を決定

道路台帳GIS

<分析例>

平成28年度の証明書類の申請受付13,949件について対応時間や発行書類等を分析

申請種別	申請受付件数	申請受付日	申請受付時間	申請受付場所	申請受付曜日	申請受付時間	申請受付曜日	申請受付時間	申請受付曜日	申請受付時間
申請種別	1145	2583	7088	5292	8252	2851	213	12532	4282	3750
発行書類種別	1.5	1	1.5	2	1.5	3	3	0.5	1	0.5
発行書類種別	1	0.2	0.5	0.5	1.5	1	1	1	1	1
対応時間	47.7	111.1	226.3	217.5	412.5	350.1	14.2	313.0	25.7	125.0
新着書類合計時間	158.8	45.8	816.8	49.8%						
新規書類	9.7%		27.7%							12.8%

各種申請のうち、「道路台帳」の閲覧申請が大量であることから、窓口に滞留が起こることが判明

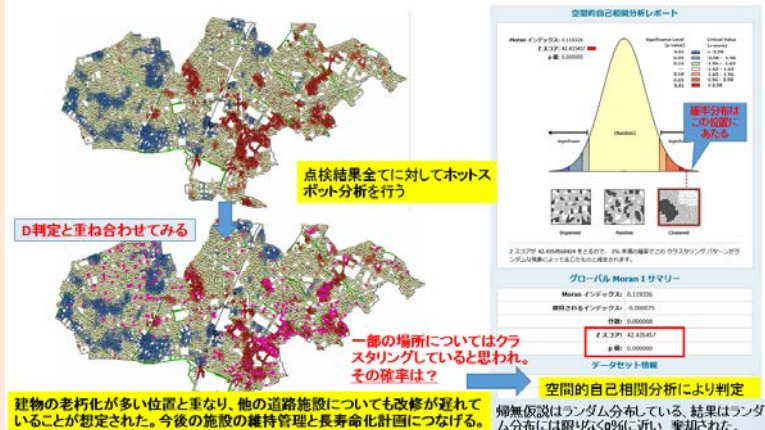
道路台帳GISのインターネット公開

業務効率化
窓口混雑緩和

街路灯点検

街路灯の健全度測定にモバイル端末を導入し、GPS情報を付加した点検結果をクラウドにより送信

GISと統計分析（クラスター化の検証）



分析結果を踏まえ、修繕計画の優先順位を決定

茨城県 いばらき型「ターゲットに訴求する統計データマイニング」

- ✓ 合併前の市町村区域の人口・経済のデータを現在の区域に再編・統合し、4コマ漫画で広報
- ✓ 整備したデータの政策活用を、ターゲットである市町村に提案し、データの利活用を促進

長期時系列表の整備

過去の国勢調査結果、市町村民経済計算を現在の市町村域に再編・統合し、時系列的に整備

長期時系列表作成前

- 「現在のA市」と「A市へと合併した旧A～旧E市」を比較するには、合併のつど、市町村データを、**足していく必要あり!**

A市 5,000人	A市 4,500人	A市 7,000人	A市 7,500人
B市 3,000人	B市 2,500人		
C市 2,000人	C市 1,500人		
D市 3,000人	D市 4,000人		
E市 2,000人	D市 3,000人	D市 3,000人	
昭和30年	昭和50年 DとEが合併	平成12年 A～Cが合併	平成29年 AとDが合併

大変!

作成後

- 足さなくても、**一目で比較できる!**
- グラフなどに加工しやすいように、**1枚のシート**に整理。

A市 15,000人	A市 12,500人	A市 10,000人	A市 7,500人
------------	------------	------------	-----------

楽!

伝わる広報

目にとまるように4コマ漫画を広報に活用



統計データの政策活用

市町村の研修会等において統計データの政策活用を提案。一部の市において各種施策に活用中



(4) 産業
また、本地域の**基幹産業でもある農業**においても、米を主要作物とするほか、西部の関東ローソム層に覆われた台地では、施設園芸を中心とした小玉スイカなどの畑作が盛んとなっており、首都圏型農業の振興が行われてきました。

(中略)

産業構造を見ると、本地域においても**第三次産業の就業人口が増加**する傾向にありますが、総従業員数は減少傾向となっています。また農業産出額、製造品出荷額等、年間商品販売額のいずれも減少傾向にあることから、既存産業の活性化は緊急の課題といえます。

(4) 産業
また、**農業は、米や小玉スイカなどの畑作が盛ん**となっており、首都圏型農業の振興が行われてきました。

(中略)

本地域の産業構造を構成比で見ると、**農業等の第1次産業は、低いながらも一定の水準を維持しています。**
製造業や建設業等の第2次産業は構成比が低下傾向にある一方で、商業やサービス業等の第3次産業は増加しており、その差は年ごとに開く傾向にあります。
また農業産出額、製造品出荷額等、年間商品販売額のいずれも横ばい減少傾向にあることから、既存産業の活性化は緊急の課題といえます。

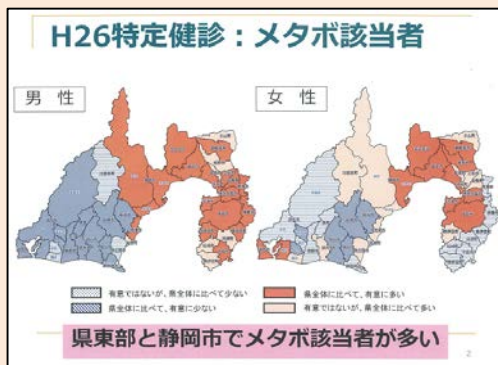
静岡県

健康課題の「見える化」 ～健診結果65万人ビッグデータをマップ化～

- ✓ 65万人(県内受診者の約80%に相当)の特定健診データを市町別に分析しマップ化
- ✓ 死因のマップ化や「超過死亡」のグラフを示し、疾病予防の優先度を提示
- ✓ 65歳以上の市町別平均自立期間を算出し、死亡と介護の要因分析を実施

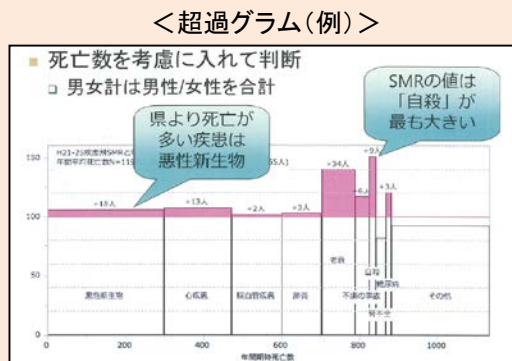
特定健診データで健康状態や生活習慣を「見える化」

- ・ 特定健診データを市町別に分析し健康状況をマップ化
- ・ 詳細な地区別分析を市町職員と行うとともに、データ活用、施策への反映方法等についても併せて提供



県より多く死亡している疾病を「見える化」

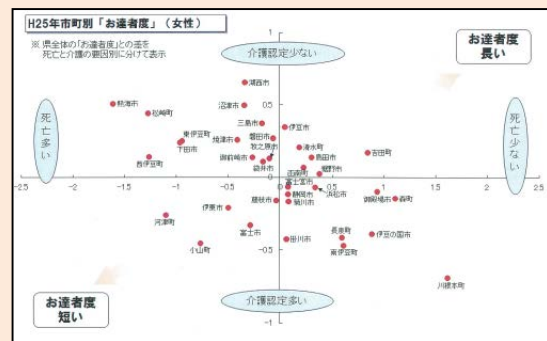
- ・ 市町別標準化死亡比を算出し、主要な死因をマップ化
- ・ 死亡率が県全体と同じと仮定した場合の死亡数と実際の死亡数の差を示す「超過死亡」のグラフ(超過グラム)を提示



高齢者がお達者に暮らせる状況を「見える化」

- ・ 市町別平均自立期間“お達者度”を算出し、ランキング化
- ・ 県全体の「お達者度」との差を死亡と介護の要因別に分析

<平成25年市町別お達者度(女性)>



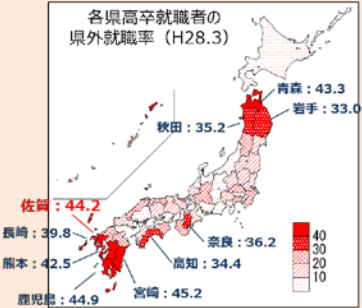
佐賀県

「人材流出県」からの脱却へ向けた 産業人材の定着・還流プロジェクト

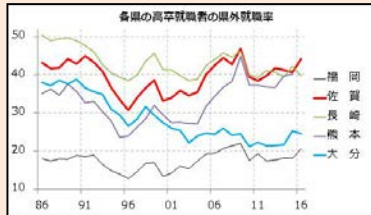
- ✓ 高卒者の「人材流出」の要因把握のため、県外就職率、初任給、求人倍率、県内産業の状況等を分析
- ✓ 県外との賃金や就業機会の格差、成長産業の製造業への偏りが判明し、様々な施策を実施

分析例

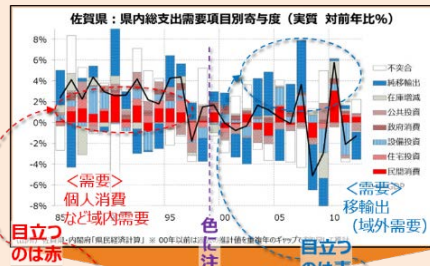
県外就職率は全国3位



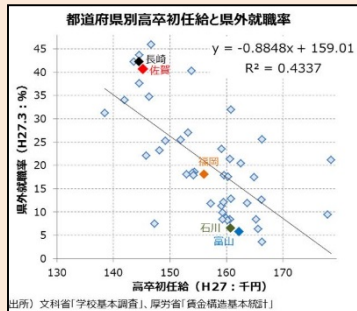
県外就職率は2000年頃を境にさらに上昇



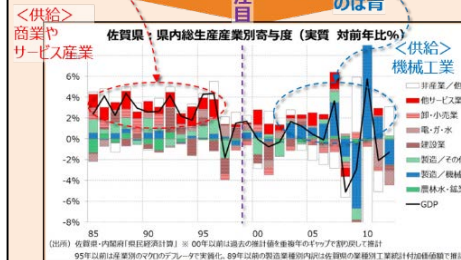
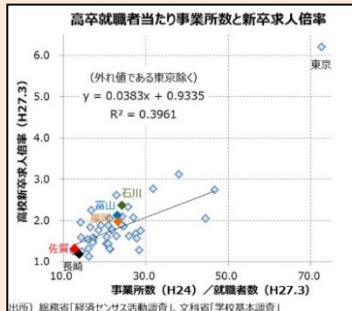
製造業は伸長の一方、サービス産業は停滞



初任給が高いほど
県外就職率が低い



求人が多いほど
県外就職率が低い



施策例

- 産業人材確保緊急支援事業
… 高校と企業との橋渡しによる県内就職の促進
- 産業人材還流促進事業
… 500人規模のUIJ奨励金
- やわらかBiz創出事業
… 若者に魅力的な雇用創出



＜UIJ就職奨励金＞